

「安全安心社会の為の Safety Service Engineering」(SSE 研究会)

社団法人日本機械学会産業・化学機械と安全部門第3回 SSE 研究会/議事録

日時： 2010年6月10日(木) 13:30 - 16:00

場所： (財)仏教伝道協会 7階「見」の間

出席者： 13名

議事：

1. SSE 研究会第2回を振り返って (20分)

SSE 研究会主査・長岡技術科学大学名誉教授

田中紘一(以下敬称略)

SSE 研究会幹事・NPO 安全工学研究所

加部隆史

縦割り省庁の弊害例2件の例示；

- 1) 福祉国家デンマークが日本の福祉ロボットを支援しているが、日本では受け入れ態勢が十分に整備されていない例<資料 No.8>。
- 2) 爆発予防と防護については、EN1127-1 で基本概念と方法論が体系的に述べられているが、日本ではその体系化が行われていなく、複数の省庁がこれに関連し、方策の統一性に欠ける<資料 No.9>。

2. 事例研究 3. (T社) (60分)

T社の機械安全～設備の本質安全化及びマネジメントによる安全の効果

トヨタ自動車株式会社安全衛生推進部

宮川光雄

人を主語とした機械安全という理念から、それが同時にグローバル時代の要求に合致し、設備の本質安全化を推進し、安全衛生面・品質面・生産面・環境面の要求を満たし、結果として生産性が向上し大幅な費用削減に繋がった事例の紹介。<資料 No.10>

3. 事例研究 4. (A社) (60分)

AGC グループの目指す安全活動

旭硝子株式会社CSR室環境安全保安統括グループリーダー 高岡弘幸

グローバルな生産拠点で適用する労働安全衛生基本方針に基づき、全員参加で機械安全の概念を配慮の上、安全活動を実践している。機械安全の概念のみでは実践が困難な為に、オペレータの安全意識と安全行動が重要となる。事後の問題を設計段階で事前に処理する事が合理的である。結果としては、継続的に労働災害数が減少する事につながっている。<資料 No.11>

4. 今後の予定等

第4回 SSE 研究会 2010年8月25日(水)13:30～日本機械学会会議室

話題提供者 東京工業大学教授 仲勇治 ライフサイクルエンジニアリング

事例研究－第三者認証機関の意味と活動

TUEV Rheinland 杉田吉広、TUEV Sued 浅井由尚、BureauVeritas 染谷美枝

第5回 SSE 研究会 2010年9月28日(火)13:30～日本機械学会会議室

話題提供者 明治大学教授 杉本旭

事例研究 S社 樽松壽章、F社 戸枝毅

* 中間とりまとめ(案)策定についての、論点・要旨の整理

(記録：加部隆史)